

月刊 やちまなこ

2021. 7.15 発行

No.284

7月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっ）だより



湿原散歩

初夏の季節を迎えた釧路湿原は霧のシーズンでもあり、今朝も一面乳白色の景色の中にハンノキ林がぼんやりと浮かんで見えた。ハシドイの花が咲き始め、特に湿度が高い日には独特な香りを辺りに放ち、早速その香りに誘われた虫たちが集まって来た。野鳥の鳴き声も相変わらず賑やかに聞こえる中、コゲラのヒナが親鳥に餌をねだる姿が印象的だった。霧も徐々に消え始めたフィールドをしばらく歩いていると、目の前に生まれて一ヶ月くらい経った子供を連れたエゾシカが現れた。



塘路フィールドノート【6/15～7/14】

【野鳥】

鳴き声は聞こえてもなかなか姿が見えない夏鳥たち。もどかしく感じることもあるこの時期の野鳥観察ですが、場所によってはまだまだ夏鳥の姿が多く見られます。中でも立ち枯れした木の枝はこの時期の絶好の観察ポイントです。



アオジ（サルルン沼周辺）

今の時期はやぶに隠れがち。ただ、「ジッ」という地鳴きの声は良く聞こえてきます



オオジュリン（塘路湖畔）

枯れ枝に止まってあたりを窺っていた。湖畔のヨシ原で見かける機会が多いです



オシドリ（塘路湖）

センター前の湖面で見かけた♂3羽。すでにエクリプスへの換羽が始まっています



ニュウナイスズメ（塘路湖畔）

枯れ枝の先に止まっているところをよく見かけます。今の季節観察しやすい鳥の一つ



ノゴマ（塘路湖畔）

よく通る声でさえずっていた。湿原に多い鳥のイメージですが、塘路湖畔では意外に稀



ノビタキ（サルルン沼周辺）

別の枝との間を何度も行き来していました。どうやらお気に入りの場所のようです

【植物】

「待望の夏到来！」と言いたいところですが、毎日鉛色の空が続き、時には肌寒ささえ感じる現在の塘路湖畔。まるで季節が逆戻りしてしまったかのようですが、湖畔に咲く華やかな花々が、真夏の到来を教えてくれています。



エゾノレンリソウ（塘路湖畔）
鮮やかな赤紫色が印象的な花。湖岸沿いや散策道脇の湿り気の多い場所で見られます



カラフトイバラ（サルルン沼周辺）
ちょうど見頃を迎えていたところ。華やかなピンク色の花が夏の湿原を彩ります



ハシドイ（塘路湖畔）
華やかな香りで楽しませてくれる花。ただ、今年は昨年に比べて咲きっぷりは今一つ



クサフジ（塘路湖畔）
散策道沿いでたくさん咲いています。初夏から夏の終わり頃まで見られる息の長い花



ホザキシモツケ（塘路湖畔）
夏の湖畔の色彩を演出する中心的存在。センター前の湖岸で見頃を迎えつつあります。



ヤマブキシヨウマ（塘路湖畔）
散策道脇でひっそり咲いています。色は地味ですが、ふわふわの見た目はかなり個性的

【昆虫】

塘路湖畔の夏はトンボの季節。晴れて気温が上がった日には、水辺や散策道沿いで多くのトンボの姿を見かけます。湖畔を元気に飛び交うトンボの姿は、夏の塘路湖畔の風景を構成する重要なピースの一つとなっています。



ホンサナエ（塘路湖畔）
塘路湖畔ではやや稀な種。湖岸沿いの石の上で翅を休めているところをたまに見かけます



ヨツボシトンボ（塘路湖畔）
枯れヨモギの先に止まっていた二頭。この時期の塘路湖畔では最もよく見るトンボです



ルリイトトンボ（塘路湖畔）
名前のとおり瑠璃色が美しい。イトトンボの仲間では比較的早い時期から見られます

◎今年のエゾシロチョウの年？

今年気になっている昆虫の一つが、白い翅にくっきりとした黒い筋が特徴のエゾシロチョウ。それほど個体数が多いわけではなく、湖畔を散策している時にたまに見かける程度ではあるものの、例年塘路湖周辺ではあまり見かけないチョウであることに加え、シロチョウの仲間ではダントツの大きさであることから、今夏の塘路湖畔で非常に目立つ存在となっています。

道内の他地域からは大量発生のニュースも聞こえてくるので、もしかすると、今年はエゾシロチョウの当たり年なのかもしれません。



フキの葉に止まるエゾシロチョウ

◎土器作りを体験しました

3日、自然ふれあい行事「縄文土器作り講座」を開催しました。はじめに講師の標茶町博物館学芸員の坪岡始さんから、塘路地区から出土した縄文時代の土器を見せてもらい、文様や形の特徴などを解説してもらいました。

底の部分を作ったあと、ひも状にした粘土をその上に積み上げながら土器を作り、午後から表面に文様付けの作業を行いました。講師から縄目の道具を使い土器の表面を転がしてゆくと独特な縄文が現れ、実演しながらその特徴を教えてくださいました。他にも貝殻や木の枝などを使って文様付けした土器は、乾燥後8月に野焼きをして完成させます。参加者9名



夢中で作業する参加者の皆さん
個性的な作品がたくさんできました

8月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

夏休み 釧路湿原キノコ観察会

[日 時] 8月7日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森
(集合場所はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアム
センターまで

釧路湿原自然と歴史を訪ねて

[日 時] 8月14日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] サルボ展望台・サルルン展望台周辺
(集合場所はサルボ展望台駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアム
センターまで

夏休み！温根内周辺の外来植物を探そう

[日 時] 8月1日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター
(0154-65-2323) まで

夏休み！ザリガニウォッチング

～ウチダザリガニ編～

[日 時] 8月15日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 6/15(3:42,19:03). 6/30(3:45,19:06). 7/14(3:55,19:00)

～編集後記～

■塘路湖では先日、地元の小学生がカヌー体験をする姿が見えました。鏡のような湖面を通過して行くカヌーから時折子供たちの歓声が聞こえてきます。湖畔沿いにあるサルボ展望台へ向かう道路は整備され利用できますが、コッタロ湿原展望台方面は途中の二本松橋が現在工事のため通行止めとなっています(塘路から二本松橋手前まで利用可)。

引き続き館内利用の際は、コロナ感染対策にご理解ご協力をお願いします。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料